

倫理 研究課題 <青年期05>

教科書：p ~ 資料集：p ~ ノートp ~

●オルポート 成熟した人格の6つの基準

●青年期の長期化（←アリエス）

前近代：通過儀礼（イニシエーション：子どもから大人になる儀式）による切替

近代：青年期（前近代には存在せず、近年は長期化する傾向）の経由

●フランクフル（20世紀・ドイツ・精神科医）

『夜と霧』：生きる希望を失うと人間は死ぬ → 「意味への意志」が必要。

※神谷美恵子（20世紀・日本・精神科医）→ハンセン病者の『生きがいについて』

※ヴァイツゼッカー（西ドイツ大統領）『荒れ野の40年』

1985年5月にドイツ敗戦40周年の記念演説。西ドイツ議会で1時間にわたりナチスの犯罪を謝罪。「過去に目を閉ざす者は、現在にも盲目となる」。

※上田紀行『生きる意味』、香山リカ『独裁入門』

★フランクフルは、絶望しかけている人に対して、「あなたが人生に何を期待するか」ではなく、「人生はあなたに何を期待しているか」を考えよとアドバイスした。どういう意味？

.....

.....

.....

★そもそも「生きる意味」とは何か？ なぜそれが必要なのか？

.....

.....

.....

.....

.....